

たと見える、鶯だと思つて、あんなに丁寧にして居るに、ひょつとかして、鳥だと知れては、面白くあるまい、これは一番鶯になりすまして、氣前

併し、夫かといつて、此牛肉をやるのも惜いものだが、など考へて居ました、とうとう思ひ切つたと見えて、彼の牛肉を上から投てやつてい



やがて、むしやくと食べました。が、食べて仕舞ふか仕舞はない中に、毒が回つて来て、忽ちの中に、悶へ死にをしましたと云。

かにも鶯の様な風をして、大様に飛で行ました。狐は、鴉の馬鹿者奴が、甘くおれに欺されて、折角取つた甘い物を呉れたなと、打ち笑ひながら、

室内遊戯

(十) 盲人の裁判

一人が目隠して居ると、残りの人を一人づつ、誰

かゝり引き連れて、其側に持つて行く、目隠しは、見ないで、手で觸つたり撫でたりして見て、其誰だかを當てるのです、當てられた人は、すぐ代つて目隠しになり、當てなければ、後へ〜と違つた人を連れて行くのです。

(十一) 英雄の籤抽き

紙の籤を、遊びの人數だけ拵らへて、其籤の端に十とか二十とか二十五とかの數を書き入れて置いて、さて、各自夫を抽き當てたときに、自分の引き當てた數と全じだけの、昔の英雄の名を言ふのです、始めに籤を抽いた順で以て、言ふことにして前に言つて仕舞つた英雄の名を、次に言ふ人は二度と言つては行かない事になる。

これは、英雄の名でなくても、或は動物の名とか植物の名とかにしても宜しいのです。

奇妙な動植物 (ついで)

田村寛二

第一回のお話の時に申しました、ベントウコワシがなぜあんな姿勢で樹枝にとまるかと申しますとあれは強い動物に見付けられて食はれない様子の枝の眞似をして居るので、動物の擬態であると申しましたが、茲にも其体の彩色と相待つて巧に其擬態をして居る、極面白い例がありますから二つ三つ挙げて見ませう。

(九) 木葉蝶

我國の琉球地方やマレイ群島や印度地方に棲んで居る一種の蝶があります。木の葉の蝶と申しまして、圖によつて御覽の通り、其の表面は極美麗な彩色を有して居りますが、其裏面は丁度枯れ葉の様であります。此蝶が止まるときには其翅を